

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4031	(H.22)No.	4031
-----------	------	-----------	------

事務事業名	小波田川流域排水管整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道建設室(建設担当)	高田 吉則	63-7812
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	3	その他の生活排水処理
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	411601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	小波田川流域排水管整備事業
項	都市計画費	(小事業名)
目	流域排水管整備費	小波田川流域排水管整備事業

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>美旗地区市有地排水管の整備総事業費は137,633千円であり、平成21年度で排水 管敷設詳細設計を行い、平成22年3月から平成23年2月にかけて排水管布設工事を 行いました</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>美旗地区市有地排水管を小波田川共同排水管に接 続整備することで、美旗地区への企業立地促進と雇 用の創出を図ります</p>
---	--

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の 実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施		
	H21年度繰越分 事業費113,776千円 (内訳) 詳細設計業務委託、 排水管布設L=1496m、 工事管理業務委託等				業務委託(全部・一部)により実施		
	H22年度現年分 事業費23,857千円 (内訳) 排水管布設L=293m、 マンホールポンプ設置1基				指定管理		
					補助金・交付金		
					その他 ()		
直接事業費	(113,776千円)	23,857千円	0千円				
財源内訳(千円)	国庫支出金	(99,577)					
	県支出金						
	地方債	23,800					
	その他()						
	一般財源	(14,199)	57	0	0	0	0
人工数	職員	(0.76人)	0.35人				
	臨時職員等						
概算人件費	(5,548千円)	2,555千円	0千円		0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(119,324千円)	26,412千円	0千円		0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	美旗地区市有地の排水整備区域	ha	-	-	8.7	-
	実績			-	0	8.7	-
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		平成22年度で排水管の設置を完了し、平成23年度からの供用開始しました					

6. 事業を取り巻く環境

<p>事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>平成22年度で事業が完了し、今後は適切な維持管理に努めます</p>	<p>市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>今回布設した排水管を、どの処理施設へ接続するのかの意見があり、当面は処理水を小波田川へ放流することで、説明しています。将来的に、近隣のコミプラの管をこの排水管に接続できるのかについては、公共下水道の認可区域となった時に可能としています</p>
--	--

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について	
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<p>総合評価(事業の展開方法)</p> <p>(1)短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など</p> <p>(2)「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など</p>	<p>特記事項</p>
---	-------------

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6081	(H.22)No.	6081
-----------	------	-----------	------

事務事業名	農業集落排水施設整備事前調査事業(比奈知地区)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道建設室(集排担当)	福川拓雄	63-7812
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3 快適な生活環境づくり
	施策	1 下水道等
	小施策	2 農業集落排水処理施設の整備
重点施策コード 4-5. 下水道事業の計画的な推進		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	328003
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農林水産業費	農業集落排水施設整備事前調査事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業基盤整備費	農業集落排水施設整備事前調査事業(比奈知地区)	

3. 事務事業の概要

事業概要
<p>農業集落排水施設整備事前調査事業(比奈知地区) 全体事業費:7,700千円、平成22年度:事業計画書作成 計画処置人口:1,400人、管路:14km、汚水処理施設:1式</p>

めざす効果(事業目的)
<p>農業集落排水処理施設を整備するに当たり、県からの事業計画承認を得るため事業計画書の作成</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 6,783千円	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施		
			業務委託(全部・一部)により実施		
			指定管理		
			補助金・交付金		
			その他 ()		
	直接事業費	6,783千円	0千円		
	財源内訳(千円)				
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
その他(分担金)	678				
一般財源	(0) 6,105	0	0	0	
人工数					
職員	1.05人				
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 7,665千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 14,448千円	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標							
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							
考察及び今後の対応方針		引き続き、農業集落排水事業の促進を図ります					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか []	協働等の主な相手先について []
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) []	協働等の今後の取組について []
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか []	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか []	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか []	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか []	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) []	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など []	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など []	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7604	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名 赤目南部農業集落排水施設整備事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道建設室(集排担当)	福川拓雄	63-7812
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3 快適な生活環境づくり
	施 策	1 下水道等
	小 施 策	2 農業集落排水処理施設の整備
	重点施策コード	4-5. 下水道事業の計画的な推進

2. 予算区分

会計区分	事業コード	645101
農業集落排水事業特別会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農業集落排水施設整備費	赤目南部農業集落排水施設整備事業	
項 農業集落排水施設整備費	(小事業名)	
目 赤目南部農業集落排水施設整備費	赤目南部農業集落排水施設整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
赤目南部農業集落排水施設整備事業 計画処置人口:1,930人、管路:8km、汚水処理施設:1式 全体事業費:1,110,000千円 平成19年度:50,921千円、平成20年度:234,510千円、平成21年度:264,997千円、 平成22年度:330,024千円 平成23年度:163,110千円 管路:1.5km、汚水処理施設:1式	

めざす効果(事業目的)
農業集落排水処理施設を整備することにより、公共用水域や農業用排水の水質保全及び農村域の生活環境の改善を図ります

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
			市が直接実施			
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 8,489千円 (内容) ・実施設計書作成業務等 工事請負費 320,425千円 (内容) ・汚水処理施設工事 ・管路施設工事等 ・水道管移設工事 工事雑費 828千円 事務費 282千円 < H.23年度への繰越明許費 > 52,000千円 (財源) ・国庫支出金 25,000千円 ・地方債 23,000千円 ・分担金 4,000千円	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 3,490千円 (内容) ・管路、中継ポンプ実施設計書作成業務 ・管路システム整備業務 工事請負費 104,020千円 (内容) ・汚水処理施設 ・管路施設 ・中継ポンプ施設工事 ・水道管移設工事 工事雑費 2,490千円 事務費 1,110千円	業務委託(全部・一部)により実施			
	直接事業費	330,024千円	111,110千円	指定管理		
財源内訳 (千円)	国庫支出金		補助金・交付金			
	県支出金	156,000	40,000	その他 ()		
	地方債	156,300	63,000	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
	その他(分担金)	17,598	8,062			
	一般財源	(0) 126	48	0	0	0
人工数	職員	1.50人	1.33人			
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 10,950千円	9,709千円	0千円	0千円	0千円	
+ 総事業費	(0千円) 340,974千円	120,819千円	0千円	0千円	0千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	km	3.0	2.0	1.5	1.5	-
	実績						-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		引き続き、農業集落排水事業の促進を図り、生活環境の改善に向けて努めます					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
生活汚水により水質悪化し、生活環境の劣化が進んでいます 補助金制度から交付金制度に移行	事業の継続が求められています

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	外部へ委託業務等のより事業の推進を図っています
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる	未接続への普及促進のPR

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
平成23年度事業完了予定	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7605	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名 低コスト型農業集落排水施設更新支援事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道建設室(集排担当)	福川拓雄	63-7812
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施 策	1	下水道等
	小 施 策	2	農業集落排水処理施設の整備
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	645301
農業集落排水事業特別会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農業集落排水施設整備費	低コスト型農業集落排水施設更新支援事業	
項 農業集落排水施設整備費	(小事業名)	
目 低コスト型農業集落排水施設更新支援事業費	低コスト型農業集落排水施設更新支援事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
低コスト型農業集落排水施設更新支援事業 農業集落排水処理施設: 9箇所 全体事業費: 25,000千円 平成22年度: 10,500千円(機能診断調査 5箇所) 平成23年度: 14,500千円(機能診断調査 4箇所、最適整備構想策定 9箇所)	

めざす効果(事業目的)	
既存施設の低コスト化を図るため、設備診断により機能保全計画をたて、全施設の最適整備構想の策定をします	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 10,403千円	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 14,500千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
主な事業の実績・計画			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	10,403千円	14,500千円			
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	10,000	13,000			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 403	1,500	0	0	0
人工数					
職員	0.60人	0.73人			
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 4,380千円	5,329千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 14,783千円	19,829千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	箇所	-	-	5	4	-
	実績		-	-	5		-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		引き続き、農業集落排水処理施接の適切な修繕、維持管理に取り組んでいきます					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
生活汚水により水質悪化し、生活環境の劣化が進んでいます 補助金制度から交付金制度に移行？	事業の継続が求められています

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	外部へ委託業務等のより事業の推進を図っています
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる	未接続への普及促進のPR

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
平成23年度事業完了予定	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7606	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名 比奈知農業集落排水施設整備事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道建設室(集排担当)	福川拓雄	63-7812
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	2	農業集落排水処理施設の整備
	重点施策コード	4-5. 下水道事業の計画的な推進	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	645401
農業集落排水事業特別会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農業集落排水施設整備費	比奈知農業集落排水施設整備事業	
項 農業集落排水施設整備費	(小事業名)	
目 比奈知農業集落排水施設整備費	比奈知農業集落排水施設整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
比奈知農業集落排水施設整備事業 計画処置人口:1,400人、管路:14km、汚水処理施設:1式 全体事業費:1,598,000千円 平成23年度:102,271千円 路線測量、管路設計等 平成24~28年度:1,495,729千円 管路設計等、管路、汚水処理施設1式	

めざす効果(事業目的)	
農業集落排水処理施設を整備することにより、公共用水域や農業用排水の水質保全及び農村地域の生活環境の改善を図ります	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 100,320千円 (内容) ・路線測量(13.4km) ・地質調査(30箇所) ・管路設計(8.92km) ・汚水処理施設設計(1式) 事務費 1,951千円 (内訳) ・共済費 209千円 ・賃金 1,642千円 ・旅費 50千円 ・消耗品費 50千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
主な事業の実績・計画			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
			委託料 14,600千円 (内容) ・管路実施設計(1式) 工事請負費 290,400千円 (内容) ・管路工(4km) ・水道管移設(1式) 工事雑費 9,000千円 事務費	公有財産購入費 14,000千円 (内容) ・処理施設用地(1式) 工事請負費 291,000千円 (内容) ・管路工(4km) ・水道管移設(1式) 工事雑費 9,000千円 事務費	工事請負費 299,000千円 (内容) ・処理施設(1式) ・管路工(2.4km) ・水道管移設(1式) 工事雑費 9,000千円 事務費	
直接事業費		102,271千円	314,000千円	314,000千円	308,000千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金		45,000	140,000	140,000	140,000
	地方債		47,100	147,300	147,300	141,800
	その他(分担金)		10,032	26,690	26,690	26,180
	一般財源	(0)	0	139	10	10
人工数	職員		1.32人	1.32人	1.32人	1.32人
	臨時職員等		0.96人	0.96人	0.96人	0.96人
概算人件費	(0千円)	0千円	9,636千円	9,636千円	9,636千円	9,636千円
+ 総事業費	(0千円)	0千円	111,907千円	323,636千円	323,636千円	317,636千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	km	-	-	-	-	3.4
	実績		-	-	-	-	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		引き続き、農業集落排水事業の促進を図り、生活環境の改善に向けて努めます					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
生活汚水により水質悪化し、生活環境の劣化が進んでいます 補助金制度から交付金制度に移行	事業の継続が求められています

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	外部へ委託業務等のより事業の推進を図っています
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる	未接続への普及促進のPR

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 平成22年度に事業の承認を得たので23年度から事業実施	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 平成22年度より計画通り進め、平成28年度が完了年度になっており予定通り事業を実施していきます。	